

**鋁工業指数 参考資料**  
**(平成27年2月確報)**  
**～生産は緩やかな持ち直しの動き～**

平成27年4月15日  
経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

# 平成27年2月 稼働率・生産能力指数の状況

月次	稼働率	能力
季調済指数	101.0	95.6 (原指数)
前月比	▲ 3.2%	0.0%
指数水準	H26.11 100.2以来 ①H21.2 69.3 ②H21.3 70.3 ③H21.4 77.2	22年基準 ⑤ (超) H26.3 96.1以来 I H20.11 102.0 II H20.12 101.9 ①H26.7, 8 95.0 ②H26.6, 9 95.1
前月比の動き	3か月ぶり▲ (H26.11以来)	
前月比幅	22年基準 ⑨ H24.9 ▲4.0%以来 ①H23.3 ▲21.7% ②H21.1 ▲12.0% ③H21.2 ▲11.3%	
前年同月比(原指数)	▲ 2.7%	▲ 0.4%
前年同月比の動き	2か月連続▲ (H27.1～当月) ・直近で2か月連続▲以上 (H24.8～H25.6 11か月連続▲)	40か月連続▲ (H23.11～当月) 53か月連続+なし (H22.10～当月) ・直近で40か月連続▲以上 【H11.2～H17.4 75か月連続▲】
前年同月比幅	H27.1 ▲3.3%以来 ①H21.2 ▲43.9% ②H21.3 ▲40.5% ③H21.1 ▲35.0%	(H27.1 ▲0.4%以来) H26.12 ▲1.9%以来 ①H21.7, 8, H26.11 ▲2.1% ②H26.1, 2, 4, 6, 10 ▲2.0% ③H21.9, H26.12 ▲1.9%

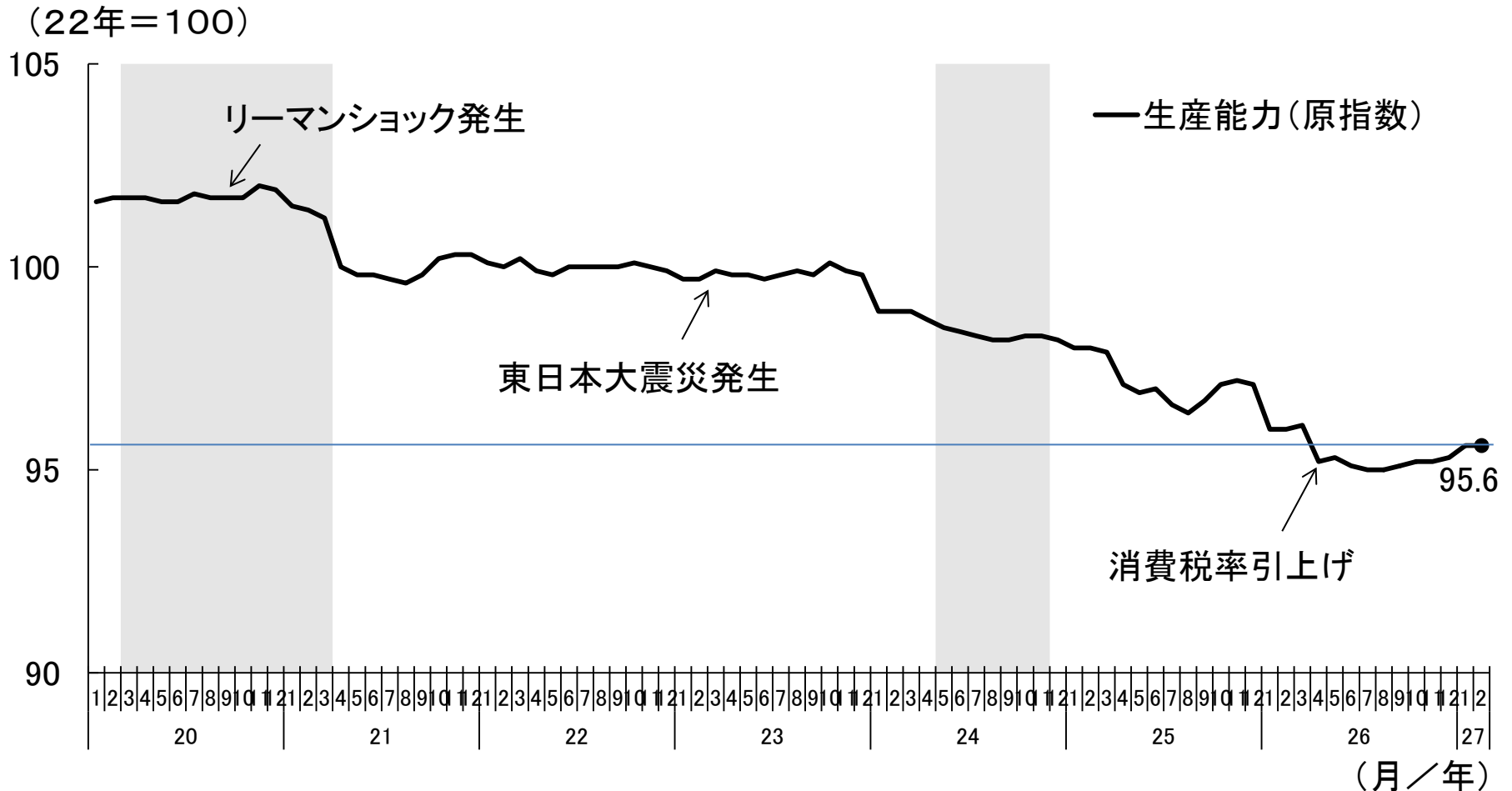
1) ▲はマイナス

2) I～Ⅲは22年基準における最大値から3位まで、①～③は最小値から3位までの数値

3) 【 】内は22年基準以外

# 製造工業生産能力指数の動向

- 平成27年2月の生産能力指数は95.6(前月比0.0%)と横ばい。



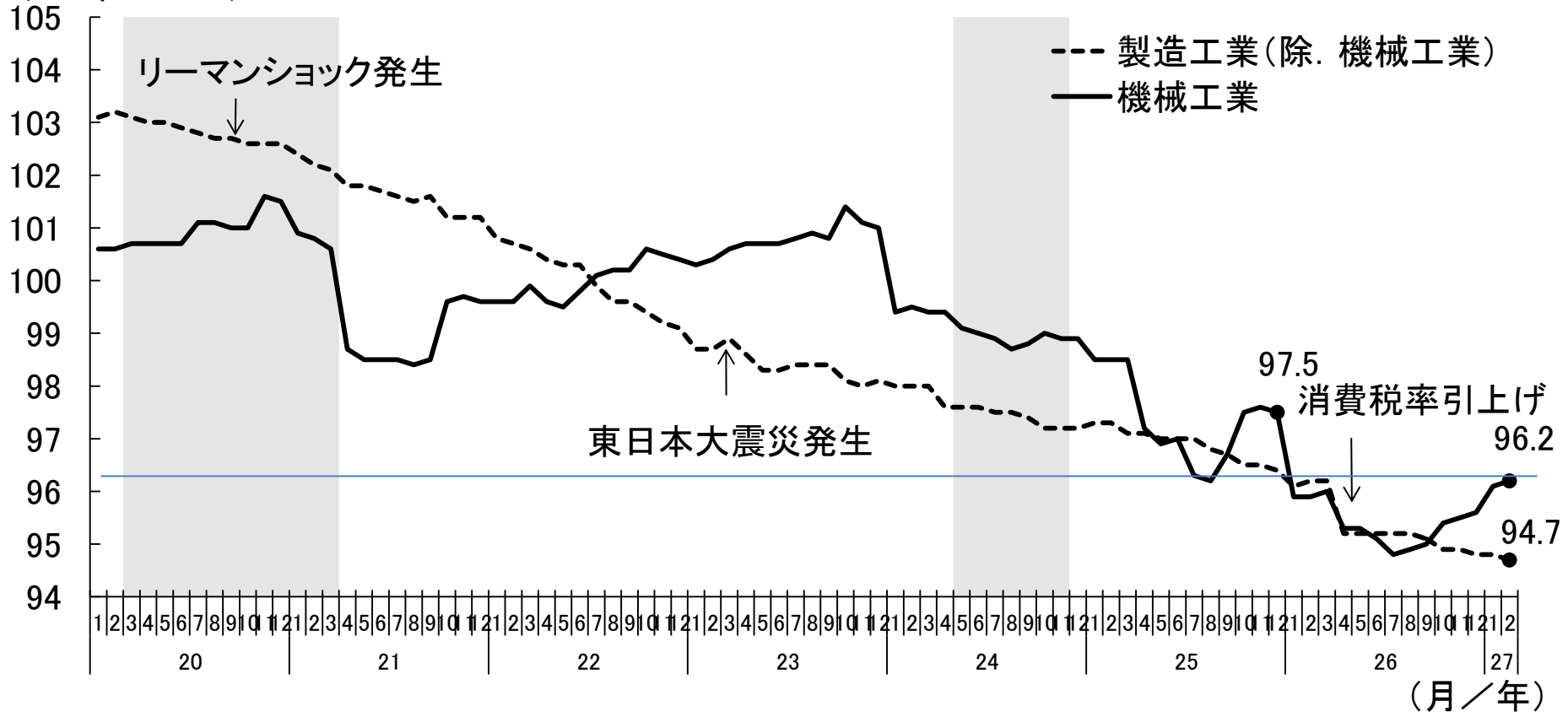
(注) 1. 製造工業生産能力指数とは、月々の製造工業の生産能力を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもの。

2. シャド一部分は景気後退局面。24年5月~11月は暫定。

# 製造工業(除.機械工業)と機械工業の生産能力指数の動向

- 平成27年2月の機械工業は96.2(前月比0.1%)と7か月連続の上昇。平成25年12月の97.5以来の水準。
- 一方、平成27年2月の製造工業(除.機械工業)は、94.7(前月比▲0.1%)と2か月ぶりの低下となっている。

(22年=100)

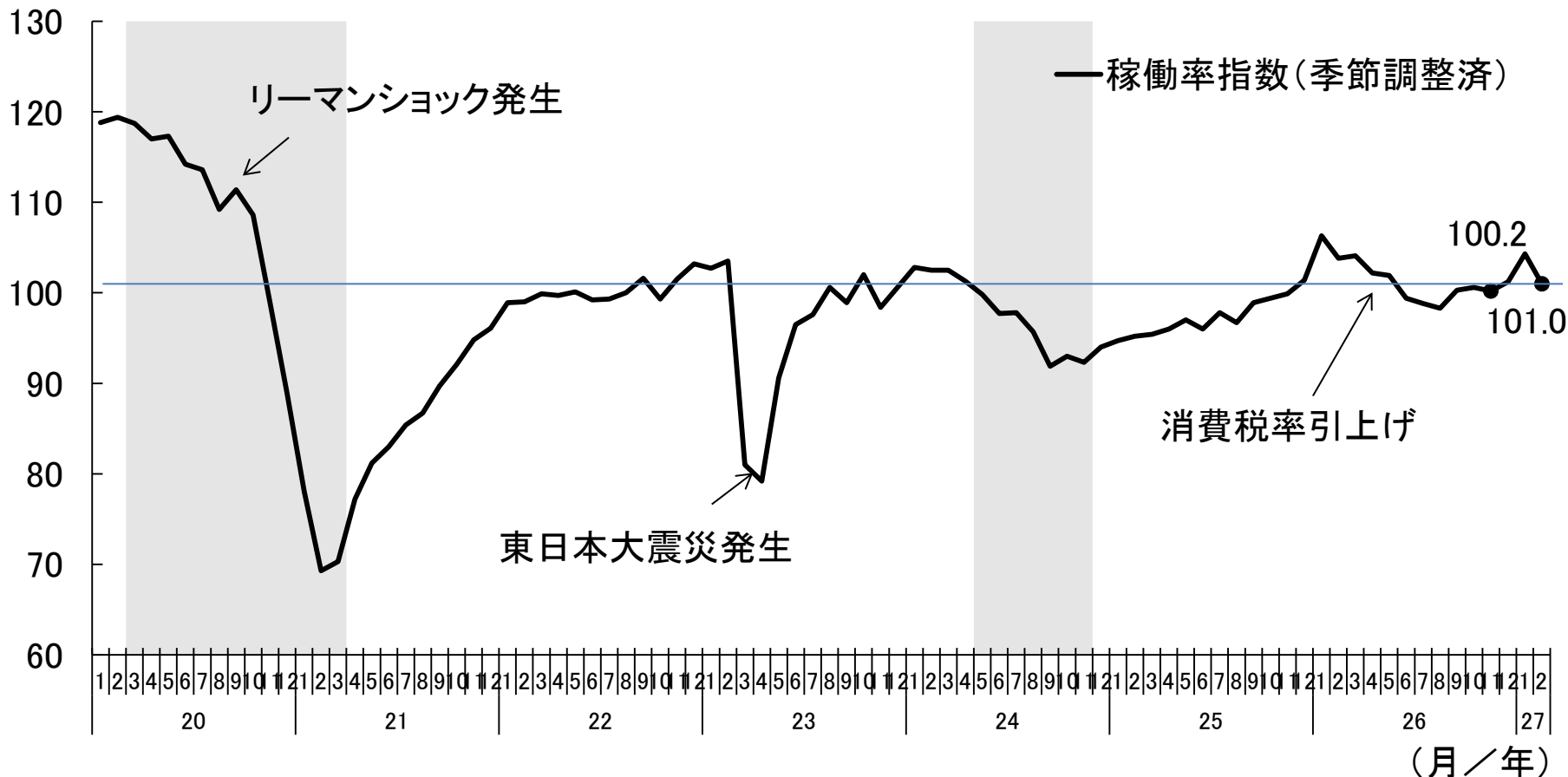


(注)シャド一部分は景気後退局面。24年5月～11月は暫定。

# 製造工業稼働率指数の動向

- 平成27年2月の稼働率指数は101.0(前月比▲3.2%)と3か月ぶりの低下。
- 平成26年11月の100.2以来の指数水準。

(22年=100)



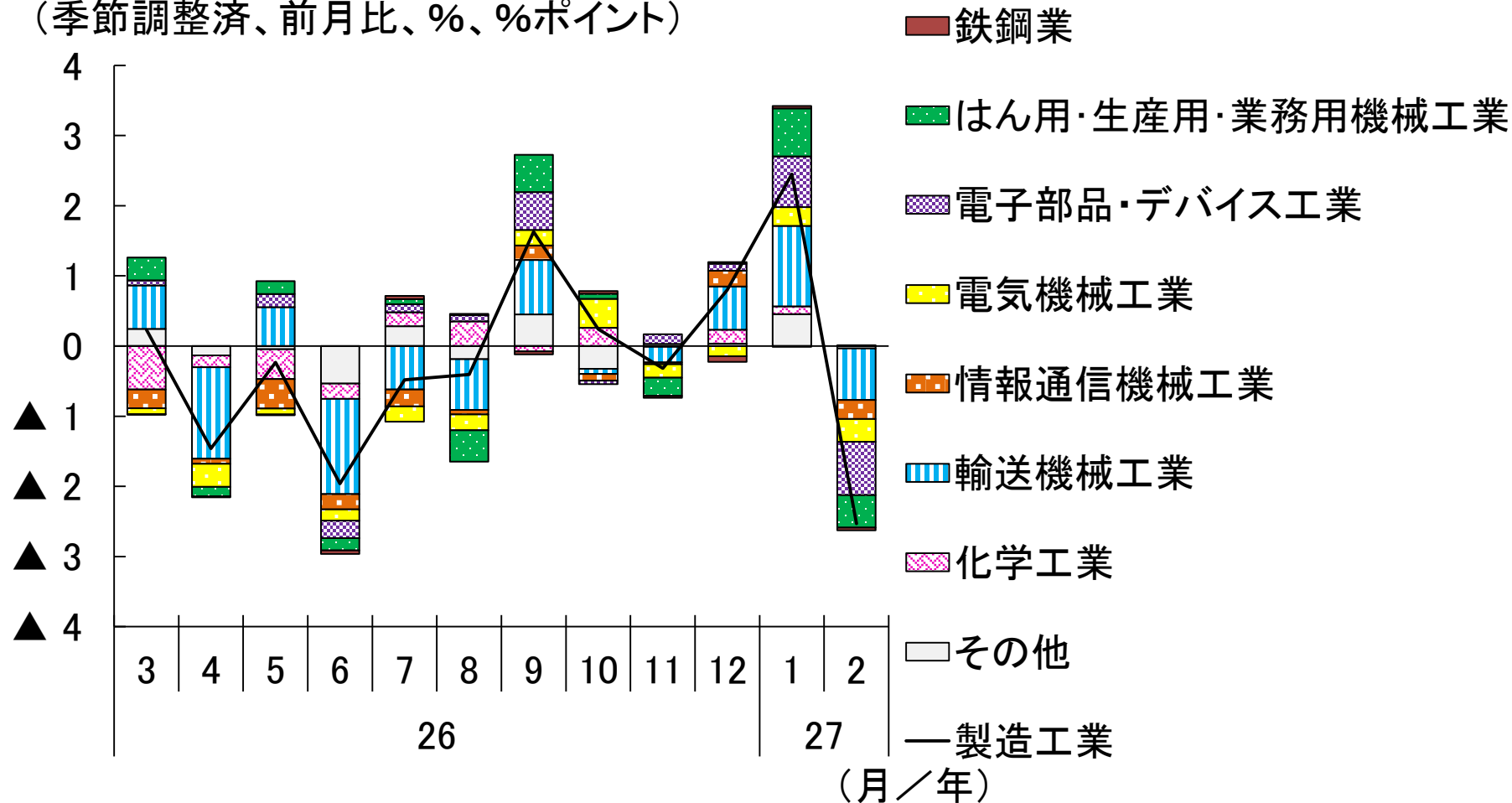
(注) 1. 製造工業稼働率指数とは、月々の製造工業の稼働率を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもの。

2. シャド一部分は景気後退局面。24年5月~11月は暫定。

# 稼働率指数への業種別寄与度分解

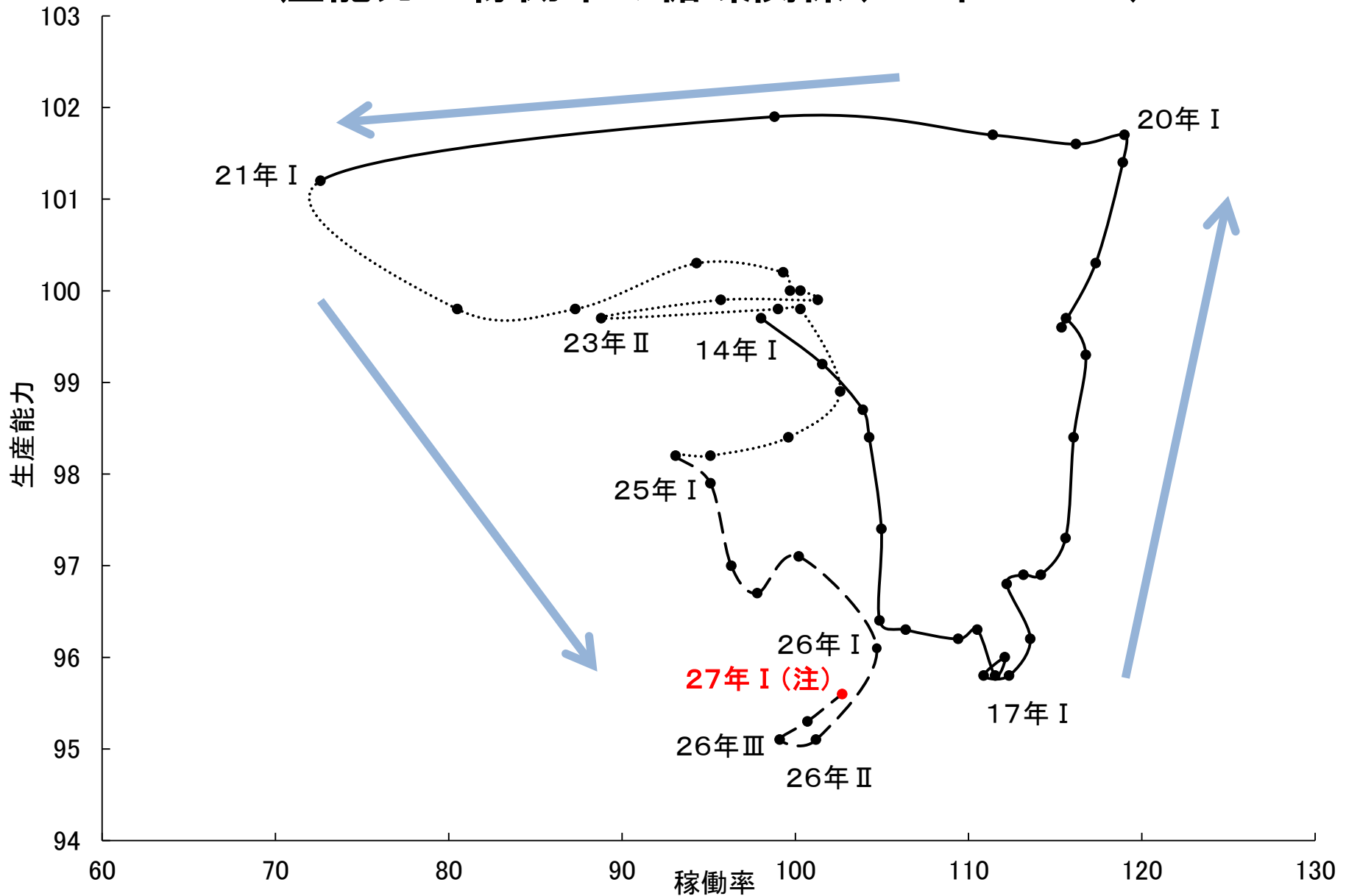
- 平成27年2月の稼働率指数(前月比、季節調整済)は、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業などが低下したため、前月比▲3.2%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



注:その他には、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、繊維工業、その他工業が含まれる。

# 生産能力－稼働率の循環関係(22年＝100)



注：稼働率指数は27年1月、2月の平均値(季節調整済)。生産能力指数は期末(27年2月末)。

# 平成27年2月(確報)各指数の状況

## 生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	98.9	97.9	113.0	113.4
前月比	▲ 3.1%	▲ 4.4%	1.1%	4.0%
指数水準	H26.12 98.1以来 ①H21.2 76.6 ②H21.3 77.6 ③H21.4 81.0	H26.12 97.1以来 ①H21.2 79.2 ②H21.3 79.7 ③H21.4 80.7	H21.2 114.8以来 I H20.12 119.8 II H21.1 119.5 III H20.11 119.1	H26.11 116.1以来 I H21.2 155.6 II H21.1 150.2 III H21.3 146.3
前月比の動き	3か月ぶり▲ (H26.11以来)	2か月ぶり▲ (H26.12以来)	3か月ぶり+ (H26.11以来)	3か月ぶり+ (H26.11以来)
前月比幅	<b>22年基準⑦</b> H23.3 ▲16.5%以来 ①H23.3 ▲16.5% ②H21.1 ▲8.8% ③H21.2 ▲8.6%	<b>22年基準⑥</b> H23.3 ▲15.7%以来 ①H23.3 ▲15.7% ②H21.1 ▲9.5% ③H20.12 ▲7.1%	H26.11 1.1%以来 (超) H26.6 1.3%以来 I H23.5 4.7% II H24.3 2.5% III H22.12, H23.4 2.3%	H26.8 7.0%以来 I H20.11 13.2% II H20.12 9.9% III H21.1 9.8%
前年同月比(原指数)	▲ 2.0%	▲ 2.9%	7.0%	8.8%
前年同月比の動き	5か月連続▲ (H26.10～当月) ・直近で5ヶ月連続▲以上 11か月連続+ (H24.8～H25.6)	5か月連続▲ (H26.10～当月) ・直近で5ヶ月連続▲以上 11か月連続+ (H24.8～H25.6)	10か月連続+ (H26.5～当月) ・直近で10ヶ月連続+以上 22か月連続+ (H23.5～H25.2)	10か月連続+ (H26.5～当月) ・直近で10ヶ月連続+以上 10か月連続+ (H24.6～H25.3) 13か月連続+ (H23.3～H24.3)
前年同月比幅	H27.1 ▲2.6%以来 ①H21.2 ▲37.2% ②H21.3 ▲32.7% ③H21.4 ▲30.0%	H26.11 ▲4.8%以来 ①H21.2 ▲36.1% ②H21.3 ▲32.1% ③H21.1 ▲30.9%	<b>22年基準IV</b> H24.4 12.1%以来 I H24.3, 4 12.1% II H23.8 9.0% III H23.9 8.1%	H27.1 9.1%以来 I H21.2 64.6% II H21.1 54.8% III H21.3 47.9%

- ▲はマイナス
- I～Ⅲは22年基準における最大値から3位まで、①～③は最小値から3位までの数値
- 【 】内は22年基準以外



# 平成27年2月 「生産は緩やかな持ち直しの動き」

## 基調判断の推移

- ・平成25年9月～26年3月  
「生産は持ち直しの動き」
- ・平成26年4月～5月  
「生産は横ばい傾向」
- ・平成26年6月～8月  
「生産は弱含み」
- ・平成26年9月～11月  
「生産は一進一退」
- ・平成26年12月～  
「生産は緩やかな持ち直しの動き」

※基調判断は維持

## 鉱工業生産指数

四半期ベース

(平成22年=100、季節調整済)

	指数	前期比 (%)
平成25年 IV期	99.6	1.8
平成26年 I期	101.9	2.3
II期	98.8	▲ 3.0
III期	97.4	▲ 1.4
IV期	98.2	0.8
平成27年 I期	(99.3)	(1.1)

(注)

上記の平成27年 I期の( )及び右表の平成27年2月、3月の( )内の数字は、製造工業生産予測指数の伸び率をそのまま鉱工業生産指数の最新月に適用して、機械的に計算したものである。製造工業生産予測指数は、鉱工業指数の対象のうち一部の企業に対して、今後の生産計画を調査したものの。

月次(3か月移動平均値)ベース

(平成22年=100、季節調整済)

	指数	前月比 (%)
平成25年 3月	95.2	0.6
4月	96.2	1.1
5月	96.1	▲ 0.1
6月	96.8	0.7
7月	96.6	▲ 0.2
8月	97.8	1.2
9月	98.3	0.5
10月	99.1	0.8
11月	99.6	0.5
12月	100.9	1.3
平成26年 1月	101.4	0.5
2月	101.9	0.5
3月	100.6	▲ 1.3
4月	100.1	▲ 0.5
5月	98.8	▲ 1.3
6月	98.2	▲ 0.6
7月	97.3	▲ 0.9
8月	97.4	0.1
9月	97.8	0.4
10月	98.2	0.4
11月	98.2	0.0
12月	99.4	1.2
平成27年 1月	99.7	0.3
2月	(99.3)	(▲ 0.4)
3月	(98.7)	(▲ 0.6)

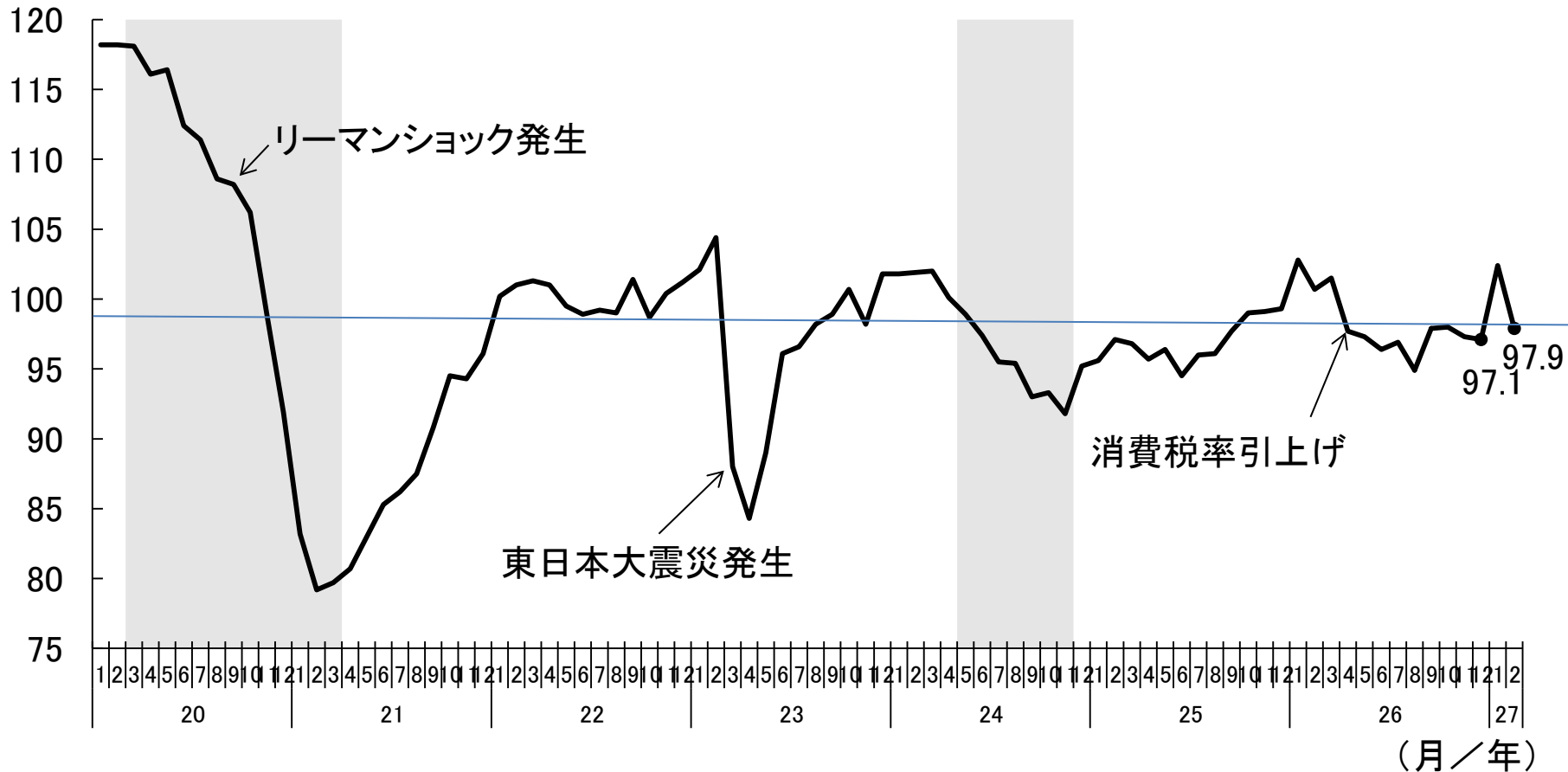




# 鋳工業出荷指数の動向

- 平成27年2月の出荷指数は97.9(前月比▲4.4%)と2か月ぶりの低下。
- 平成26年12月の97.1以来の指数水準。

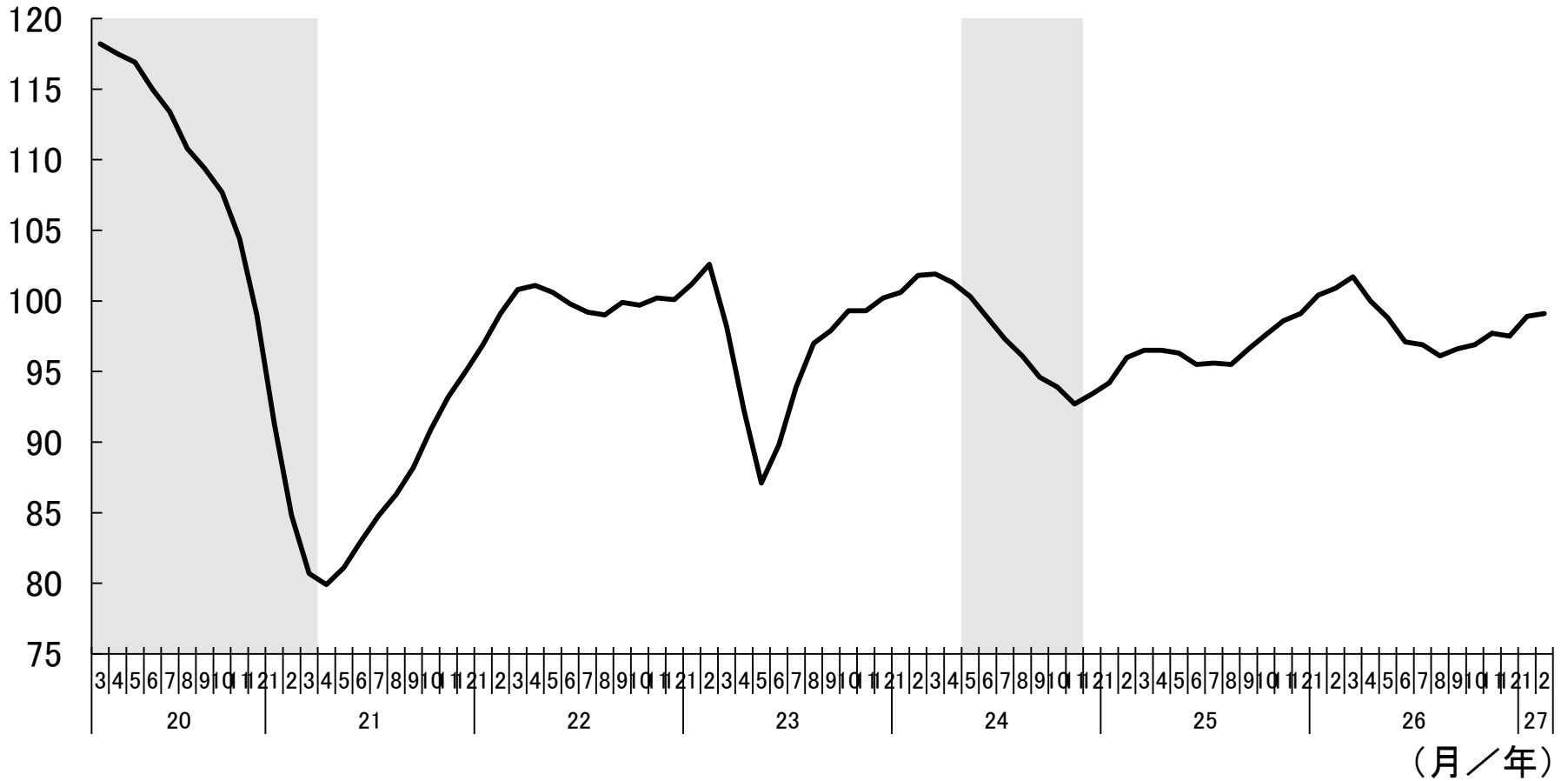
(22年=100、季節調整済)



(注)シャド一部分は景気後退局面。24年5月～11月は暫定。

# 参考：鋳工業出荷指数(後方3か月移動平均値)の動向

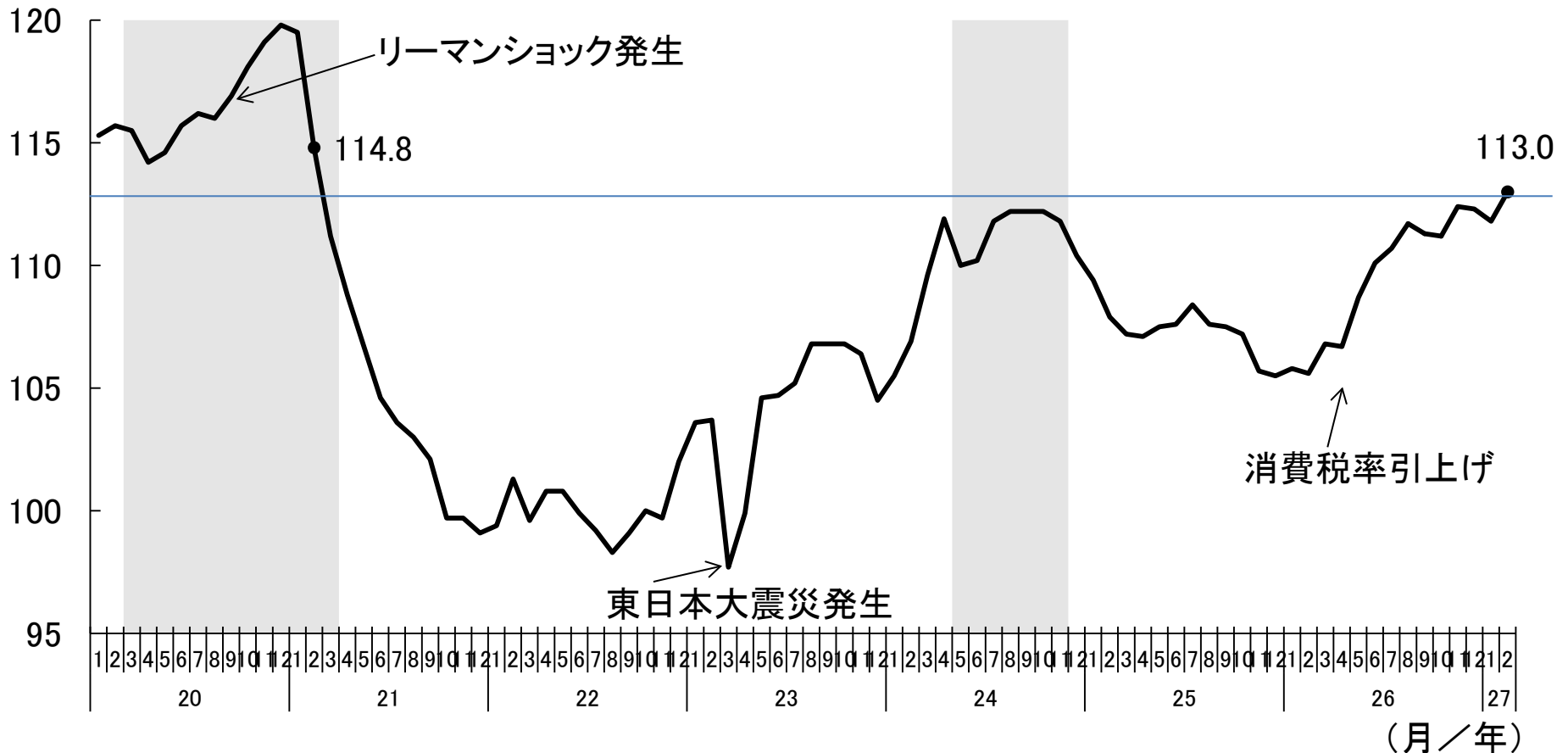
(22年=100、季節調整済)



# 鋳工業在庫指数の動向

- 平成27年2月の在庫指数は113.0(前月比1.1%)と3か月ぶりの上昇。
- 平成21年2月の114.8以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



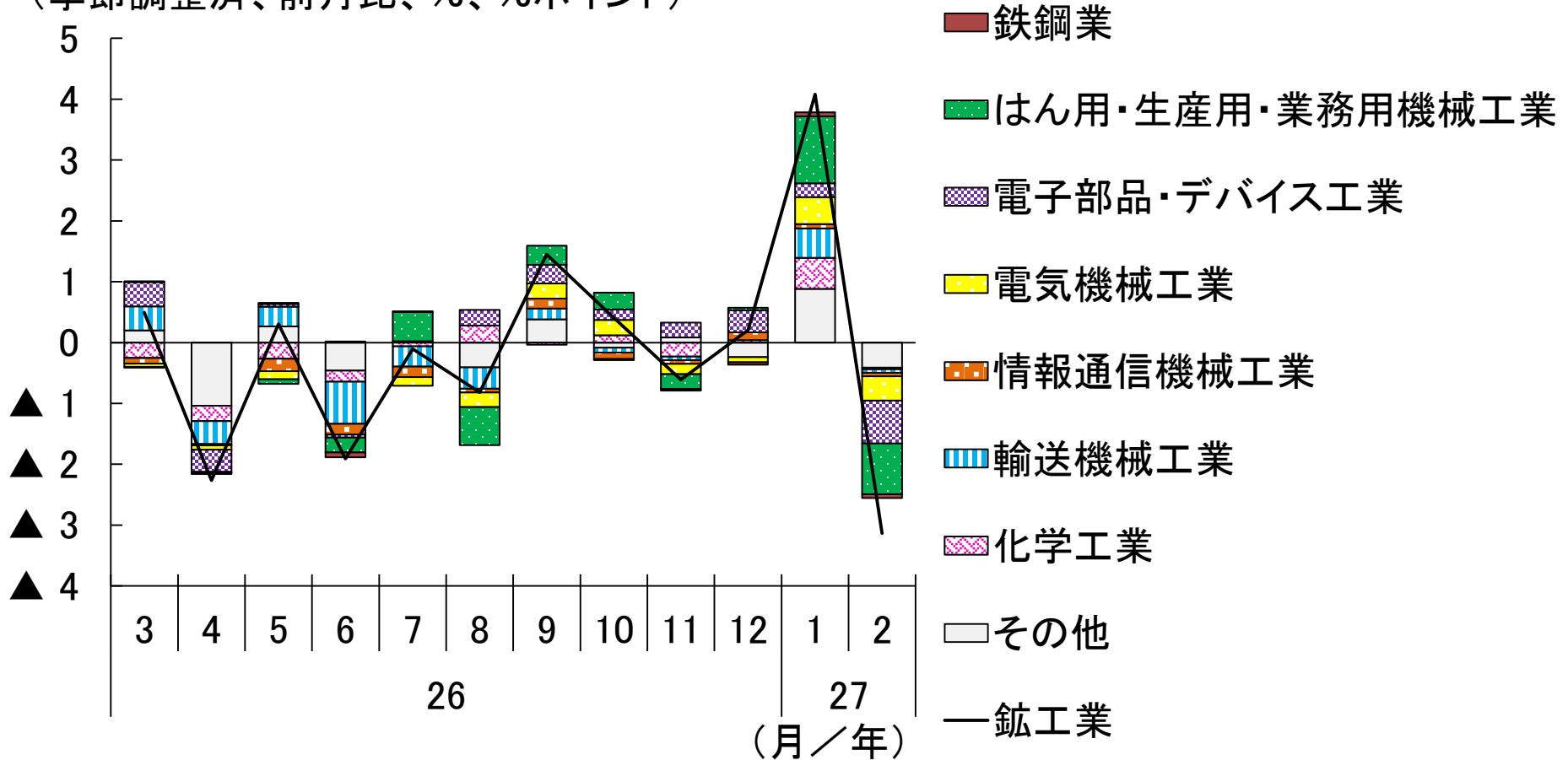
(注)シャドー部分は景気後退局面。24年5月～11月は暫定。



# 鋳工業生産への業種別寄与度分解

- 平成27年2月の生産指数(前月比、季節調整済)は、はん用・生産用・業務用機械工業などが低下したため、前月比▲3.1%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

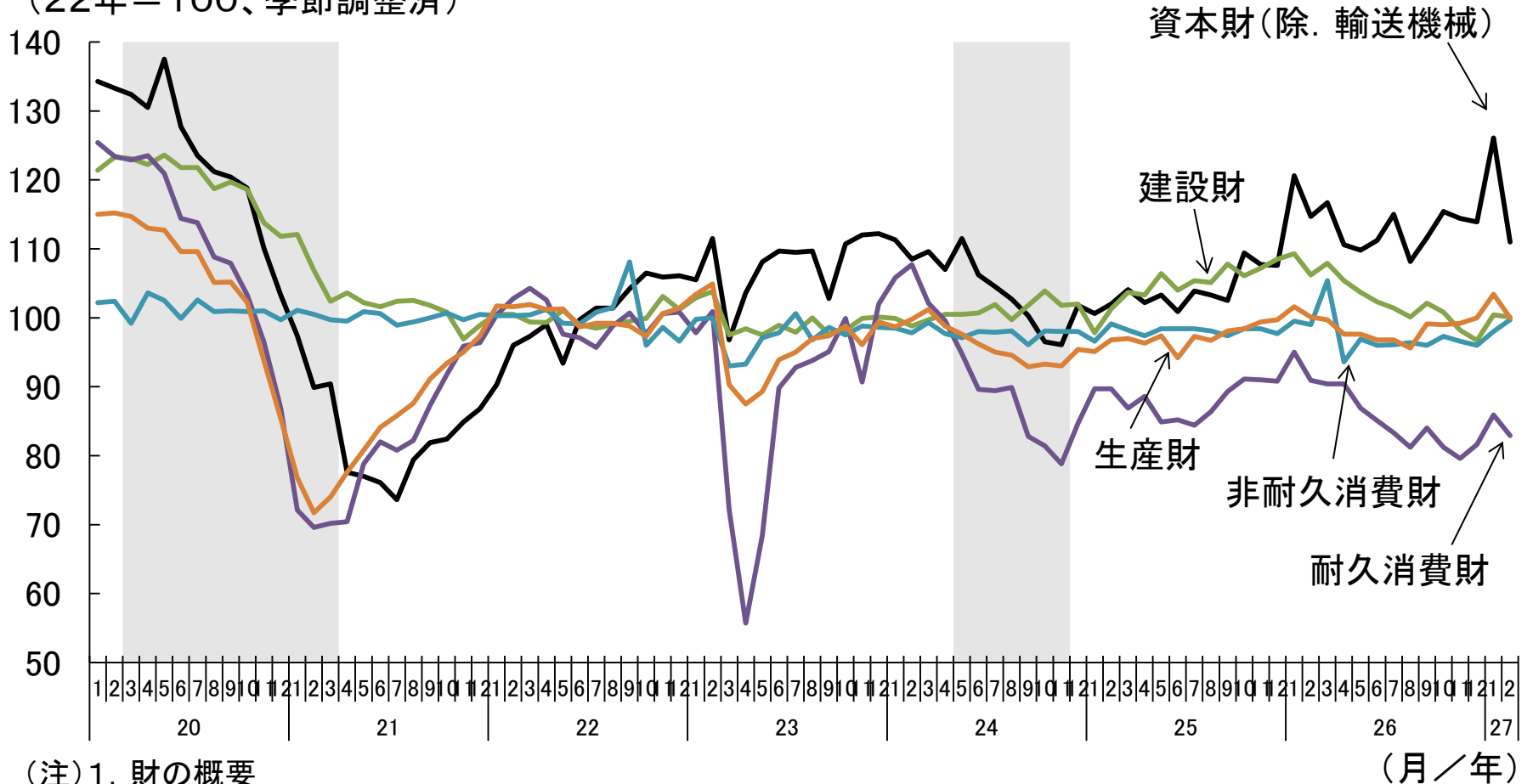


注:その他には、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、繊維工業、食料品・たばこ工業、その他工業、鋳業が含まれる。



# 財別出荷指数の動向

(22年=100、季節調整済)



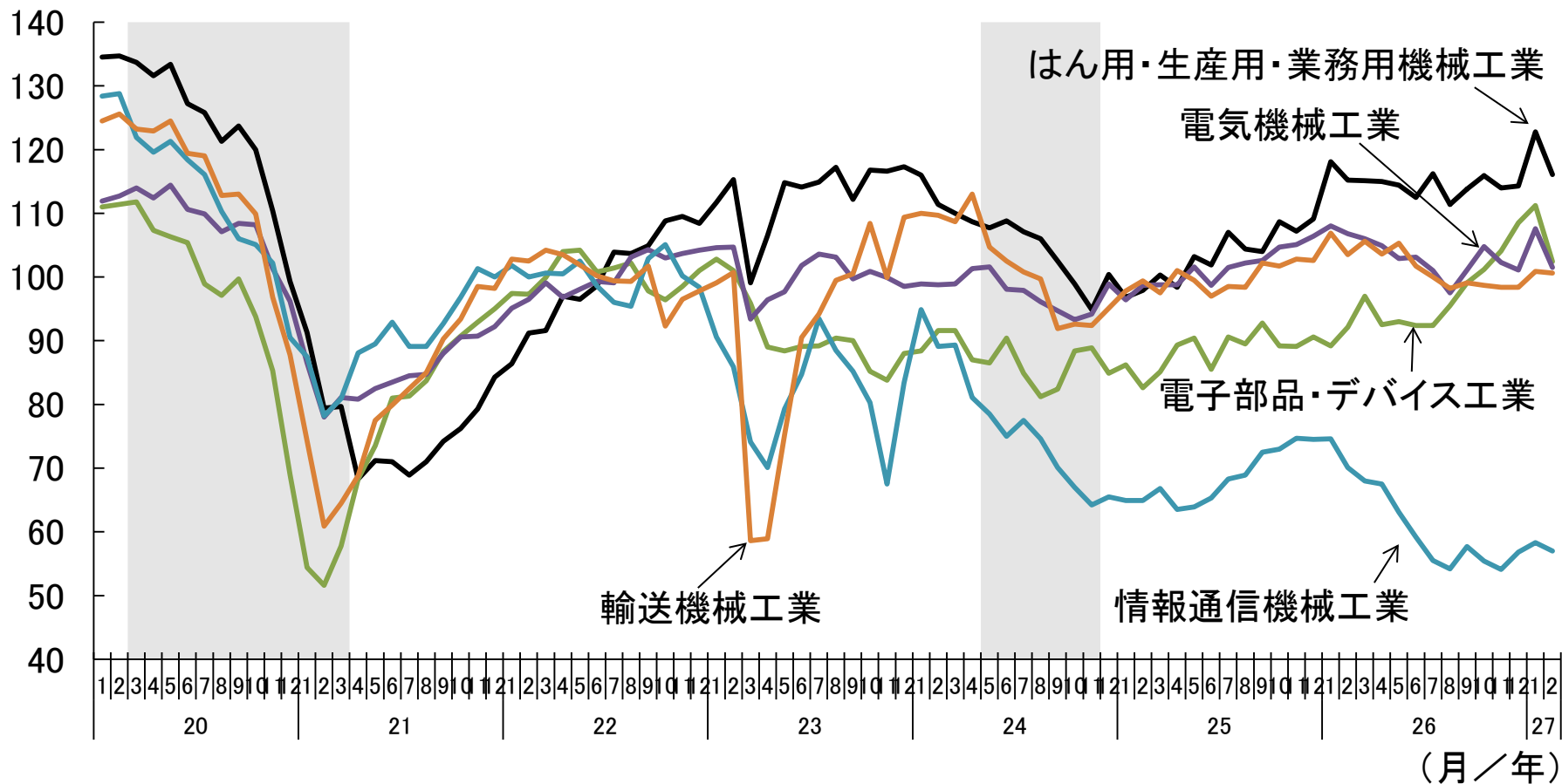
(注) 1. 財の概要

- ・資本財(除. 輸送機械): クレーンや金属工作機械など設備投資に向けられる製品
- ・建設財: 鉄骨やセメントなど建設投資に向けられる製品
- ・耐久消費財: テレビや電気冷蔵庫など家計で購入される製品
- ・非耐久消費財: 食料品や衣料品など家計で購入される製品
- ・生産財: 原材料として投入される製品

2. シャドー部分は景気後退局面。24年5月～11月は暫定。

# 加工型業種の生産指数動向

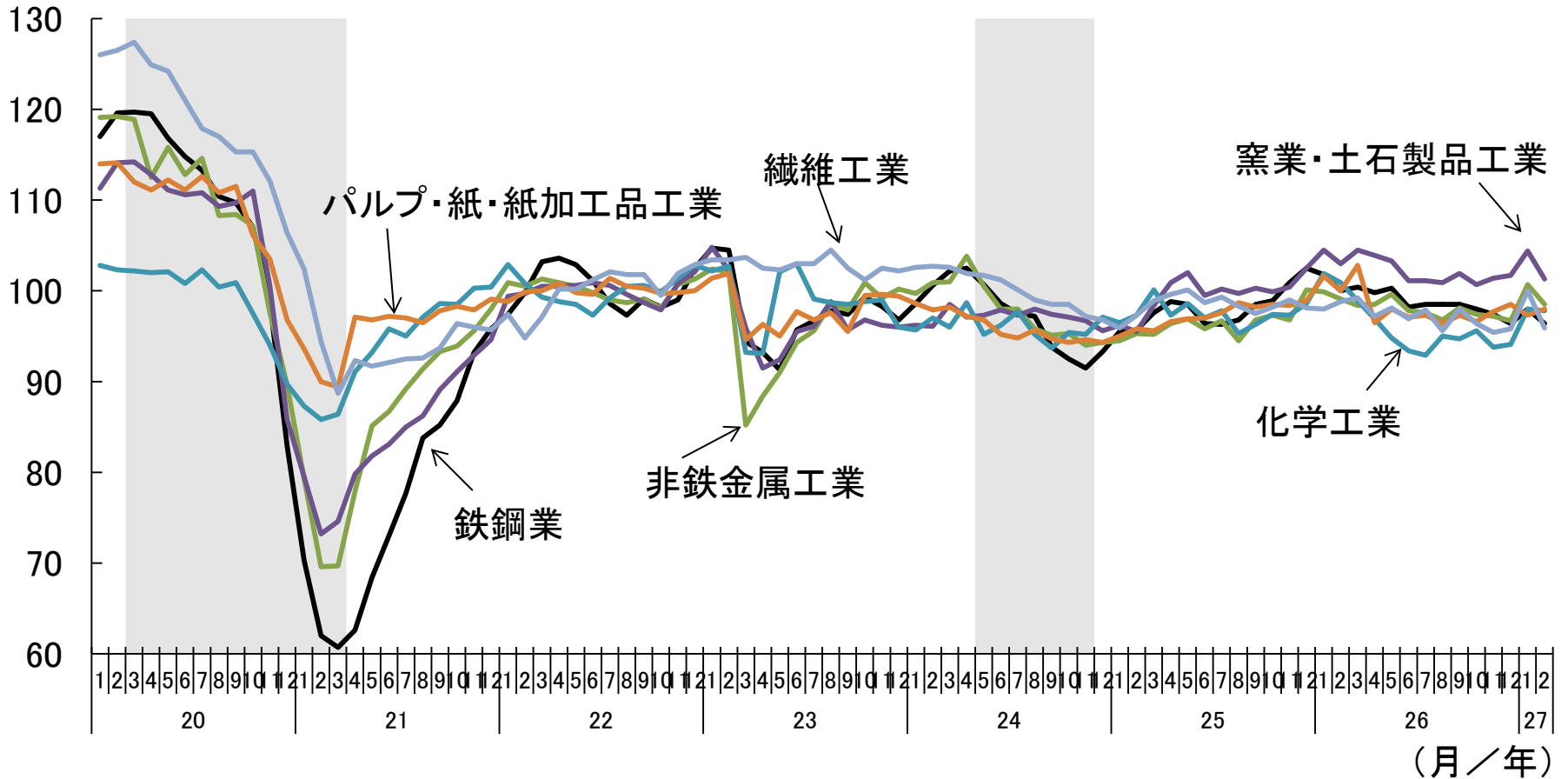
(22年=100、季節調整済)



(注)シャドー部分は景気後退局面。24年5月～11月は暫定。

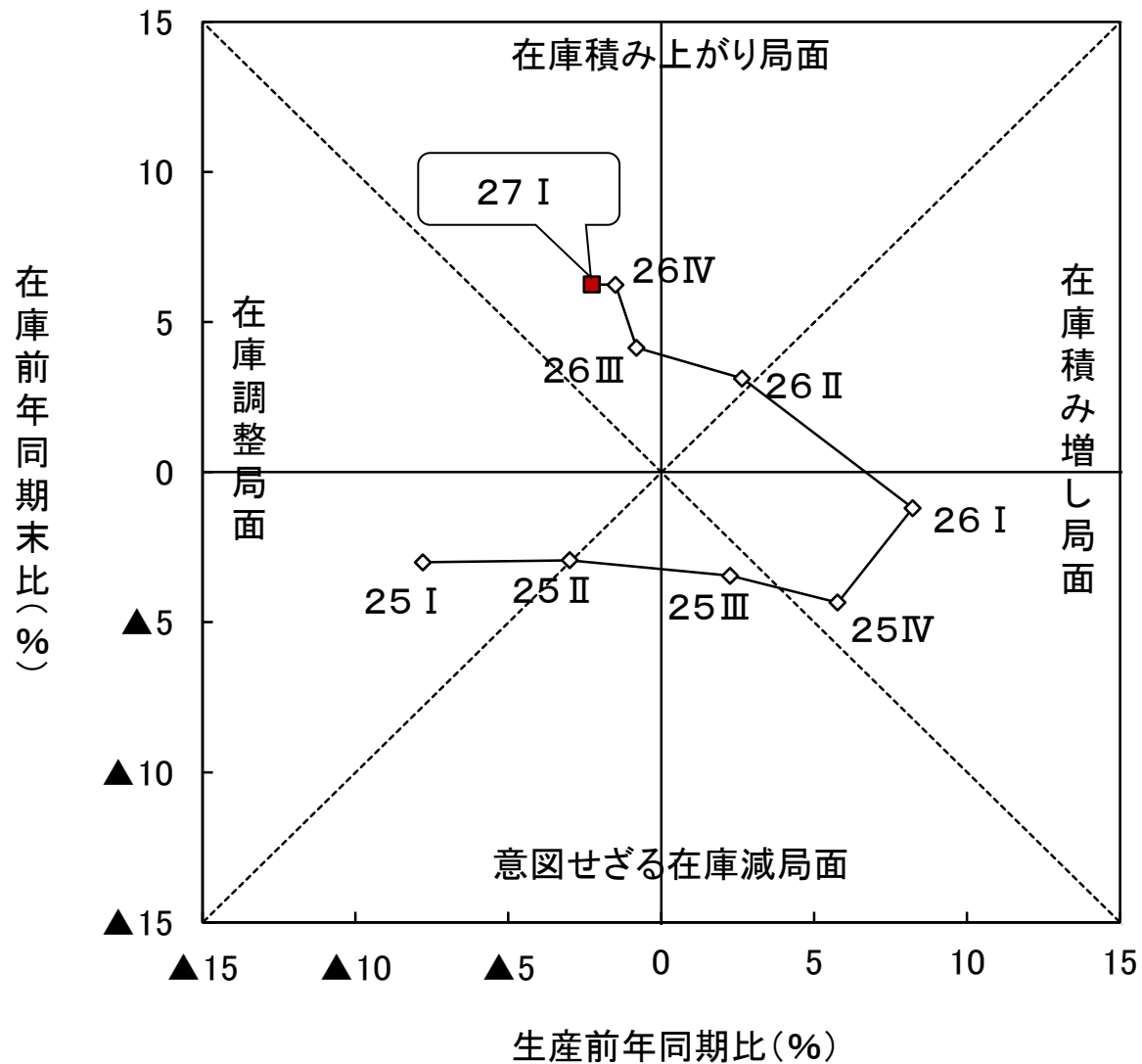
# 素材型業種の生産指数動向

(22年=100、季節調整済)



(注)シャドー部分は景気後退局面。24年5月～11月は暫定。

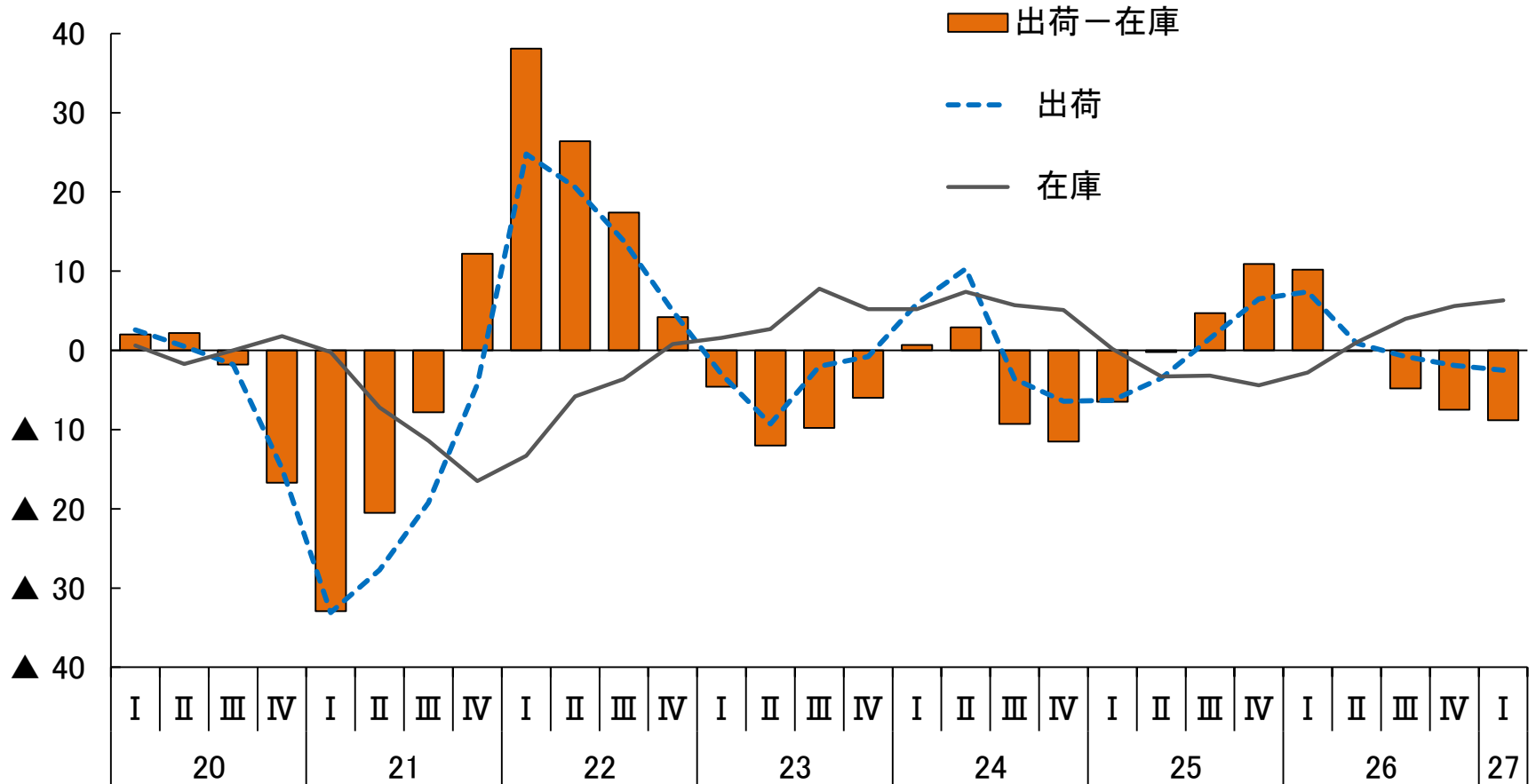
# 鋳工業の在庫循環図



注:「27年 I」は、生産は1, 2月の平均値を使用、在庫は2月末の値を使用。

# 出荷－在庫バランス

(前年同期比、%、%ポイント)



(期／年)

- (注) 1. 出荷－在庫バランス＝出荷前年同期比－在庫前年同期比  
 2. 27年 I 期は、1月と2月の平均値を使用。